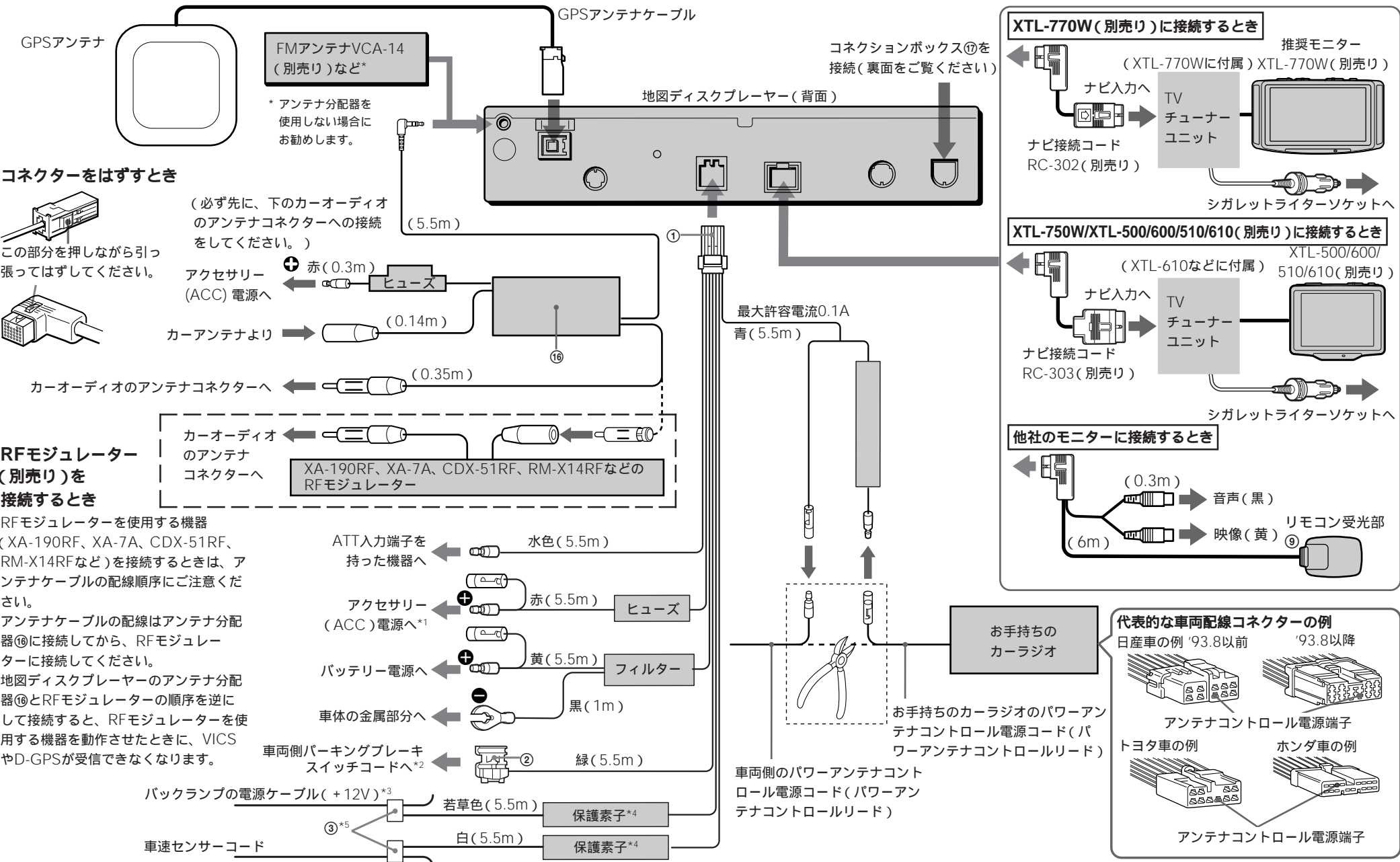


接続

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、接続作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。
(ただし、ドライブコンピューターやカーオーディオが取り付けである車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、コンピューターやカーオーディオのメモリーの内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。)



- *1 イグニッションスイッチにアクセサリポジションのない車には取り付けられません。
*2 緑色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。
*3 必ず車両側車速センサーコード、バックランプの電源ケーブルに接続してください。また、車速センサーコード、バックランプの電源ケーブルについては必ずお買い上げ店にご相談ください。
*4 保護素子は絶対に向きを逆に取り付けないでください。
*5 圧着式コネクタは保護素子より車側の位置で接続してください。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

車速センサーコード/バックランプの電源ケーブルの接続について

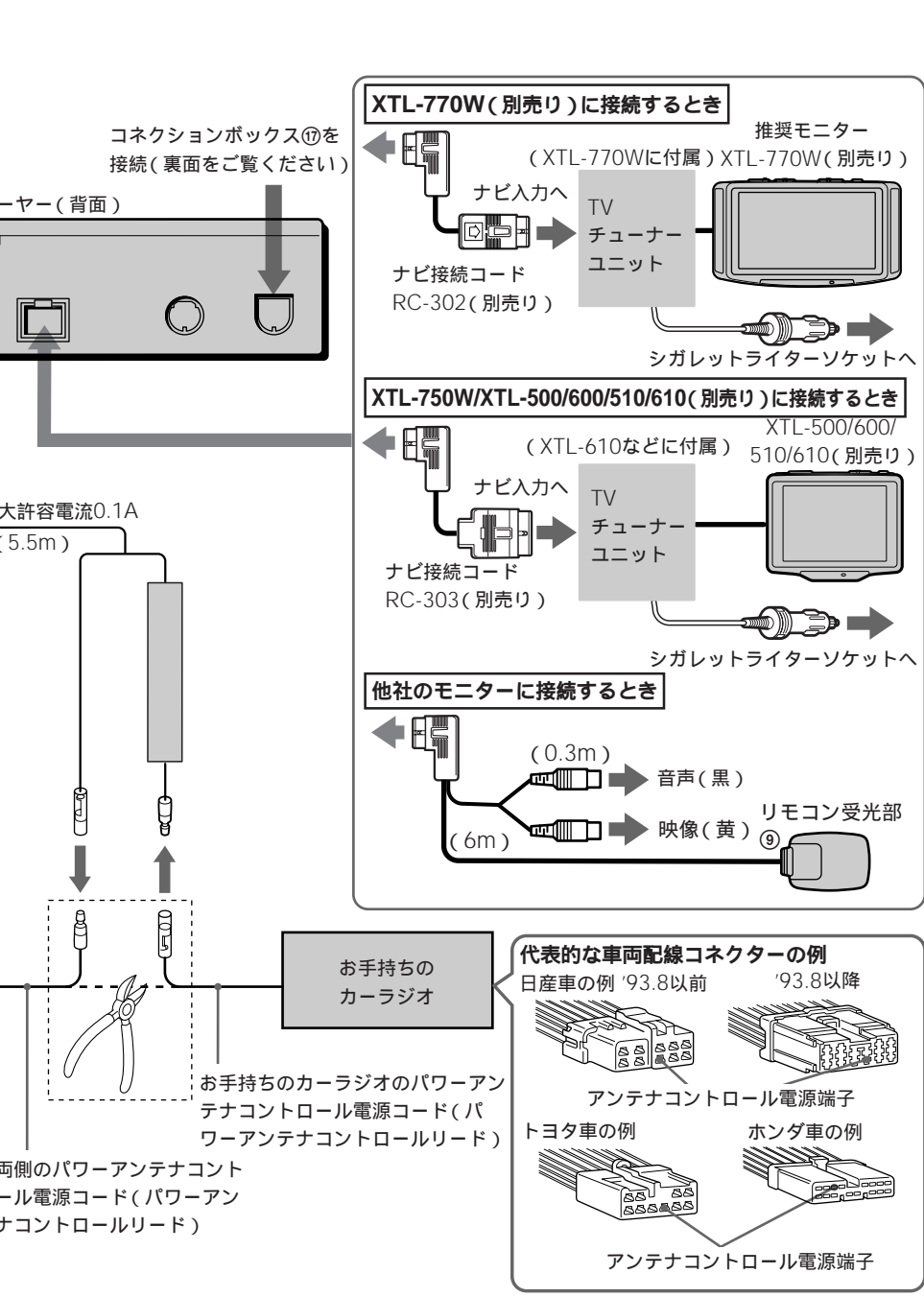
自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源ケーブルを接続しないと、車両後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源ケーブルの位置は車両によって異なりますので、必ずお買い上げ店にご相談ください。

圧着式コネクタ(ピンク)③の使いかた
(バックランプの電源ケーブルも同様に取付けてください)

1 圧着式コネクタ③から、金具を取りはずす。 	2 センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクタにとおす。
3 手順1ではずした金具を取り付ける。 	4 ふたをする。

ご注意

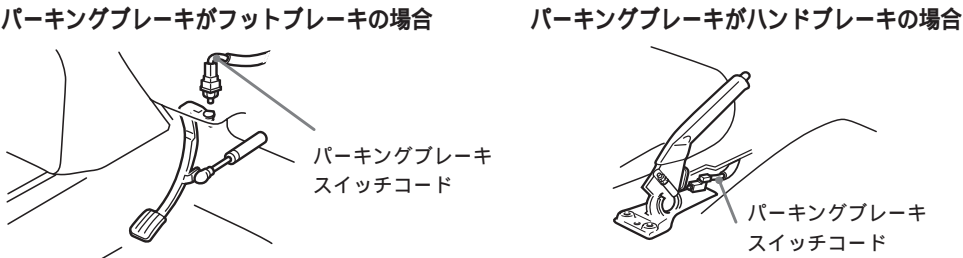
- 地図ディスクプレーヤーとXTL-770W(別売り)などのTVチューナーユニットは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- XTL-770W(別売り)などのTVアンテナは、FM/AMアンテナから離して取り付けてください。



車両側の配線コネクタがギボシ加工されていないときは、上図のようにアンテナコントロール電源端子のコードを切断し、市販のギボシ端子を取り付けてください。
(車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や、手動式のロッドアンテナの場合は接続の必要はありません。)

パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。



圧着式コネクタ(赤)②の使いかた

1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ②を取り付ける。

2 圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける。

車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

警告 安全のために

警告表示の意味

- 「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
 - 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



警告

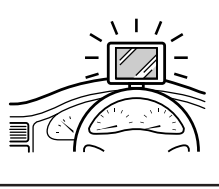


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

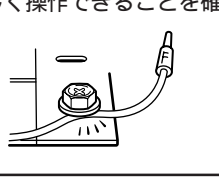


助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

- 運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
 - コード類はまとめる。
 - ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付ける、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

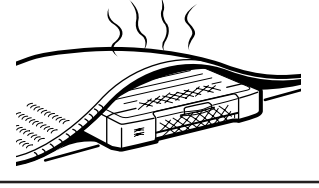


付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



アンテナは確実に両面テープで固定する

車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

SONY

インフォメーションナビシステム

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

naviken

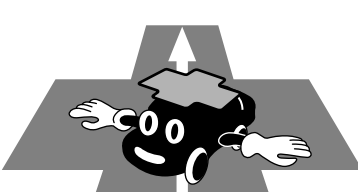
vics

GPex

Voice Drive

NVX-W900

Sony Corporation ©1997 Printed in Japan



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

取り付け / 接続部品

地図ディスクプレーヤー用

- ① 電源ケーブル×1
- ② 圧着式コネクタ(赤)×1
- ③ 圧着式コネクタ(ピンク)×2
- ④ 取り付け金具×2
- ⑤ 取り付け金具×2
- ⑥ ネジ×5(予備1含む)
- ⑦ ワッシャー×4
- ⑧ ナット×4

リモコン用

- ⑨ リモコン受光部×1
- ⑩ リモコンホルダー×1
- ⑪ 両面テープ×1
- ⑫ コードクランパー×2

GPSアンテナ用

- ⑬ クッション×1
- ⑭ コードクランパー×5
- ⑮ 両面テープ×1
- ⑯ カーアンテナ用アンテナ分配器×1

音声認識用

- ⑰ コネクションボックス×1
- ⑱ サンバイザーマイク×1
- ⑲ 音声入力ボタン×1
- ⑳ 両面テープ×1

- ㉑ コードクランパー×5

- ㉒ マイククリップ×2

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

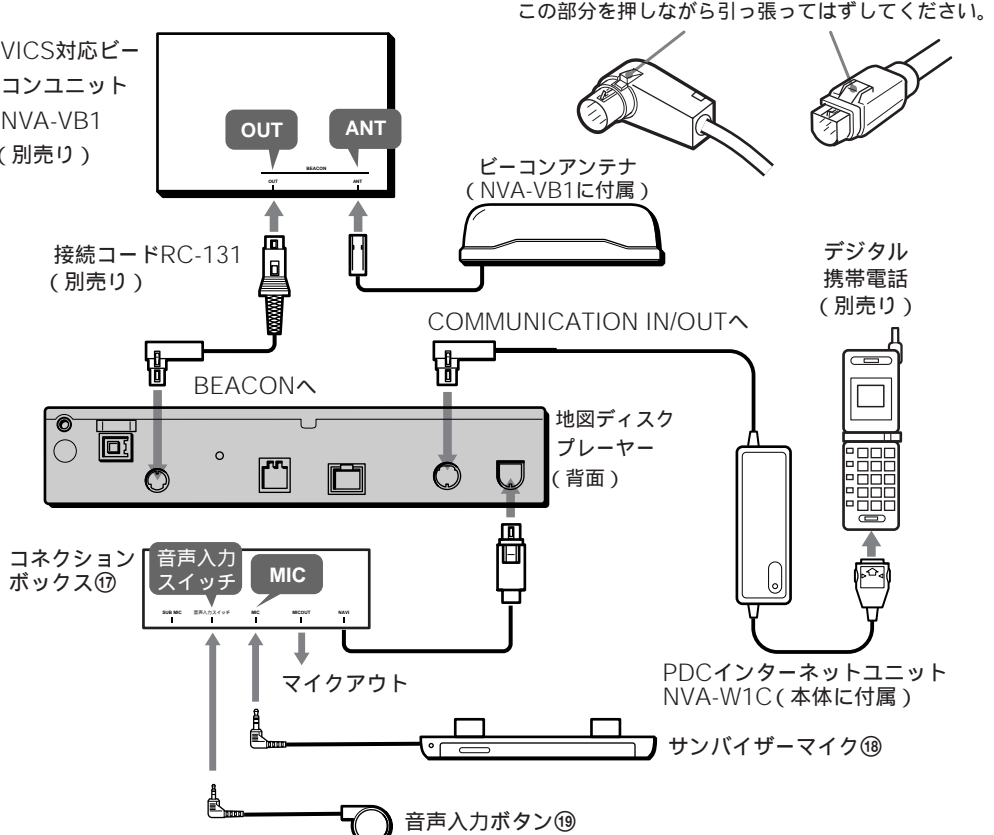
お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* 1 - 3 - 8 6 1 - 2 7 0 - 0 2 *

別売り機器と接続する



- ご注意
- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A、165Aは接続できません。
 - 内蔵音声認識ユニット用の付属品は、専用タイプのためソニーの他の地図ディスクプレーヤーでは使用できません。

サンバイザーマイクの取り付け

取り付け位置のポイント

- 運転席のサンバイザーに取り付けてください。(サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく認識できません。)
- SONY**マークがドライバーの正面にくるように取り付けてください。
- コネクションボックスを、トランクルームに取り付ける場合は、別売りの延長ケーブルをお使いください。

サンバイザーマイク用延長ケーブル RK-G131
音声入力ボタン用延長ケーブル VK-830

1 マイクにクリップ②を取り付ける

- クリップを開く。
- クリップを右図のようにマイクに差し込む。
- クリップを**SONY**マーク側に90度回転させる。

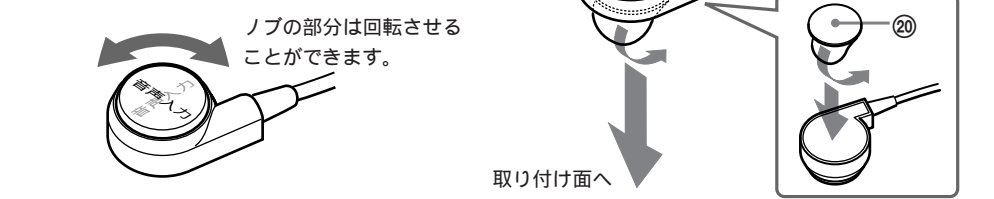
2 マイクをサンバイザーに取り付ける

コードはピラーなどにコードクランパー⑭で固定してください。

車種によっては、図のように取り付けたと、ドライバーの頭の真上に来る場合があります。その際はクリップを180度回転させ、サンバイザーの前方側に取り付けてください。

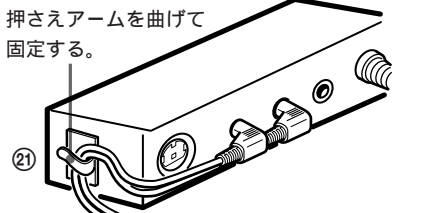
音声入力ボタンの取り付け

シフトレバーの脇などに固定してください。
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



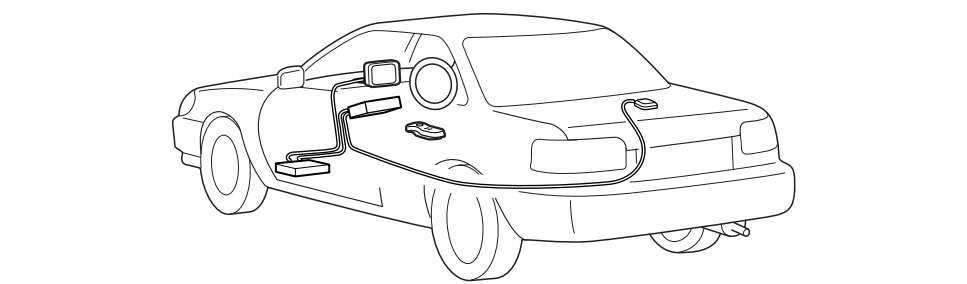
コネクションボックスへのコードクランパーの取り付け

コードクランパー⑭を本体側面に取り付けて図のようにコードをまとめておくと、コードが誤って外れることがありません。



取り付ける前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



ご注意

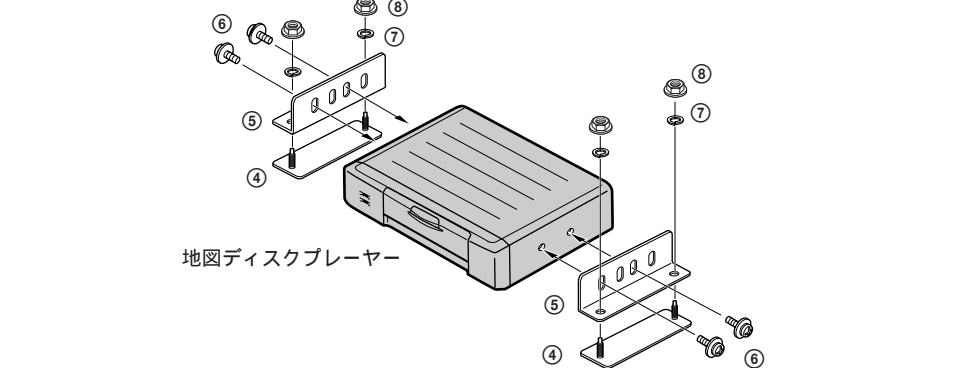
次のような場所への取り付けは避けてください。

- 高温になるところ。
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

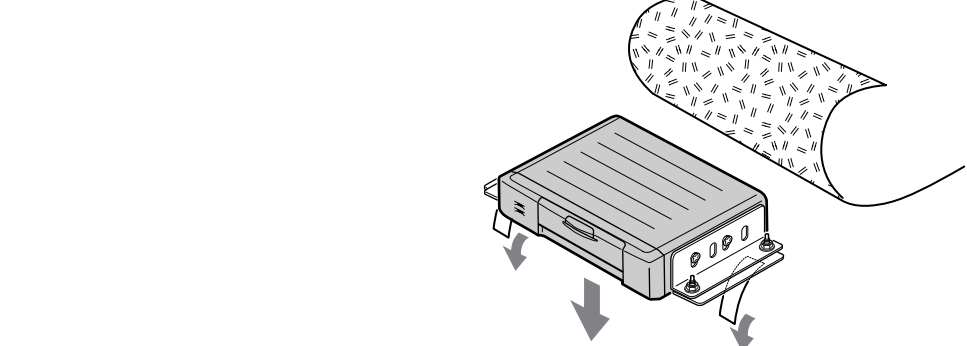
地図ディスクプレーヤーの取り付け

横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

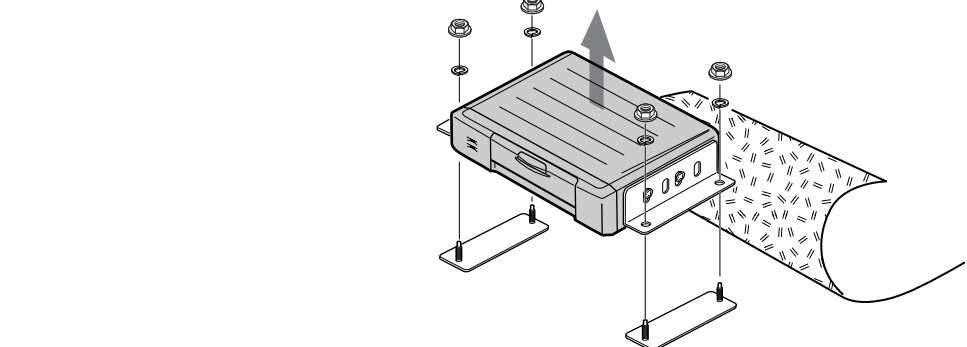
1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止める。



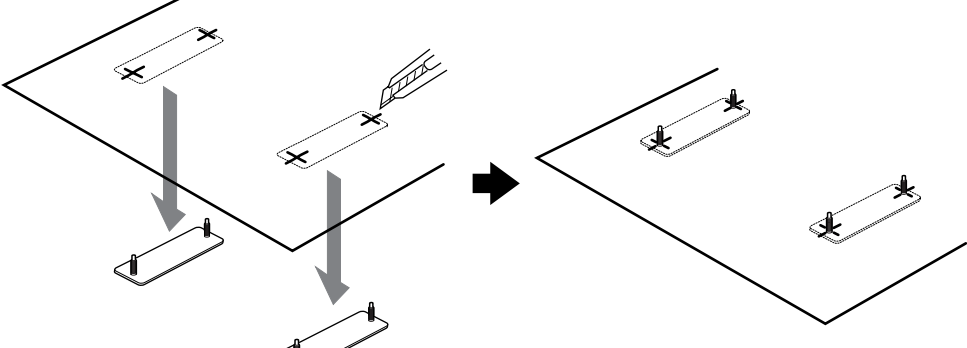
2 カーペットを外して金具を固定する。



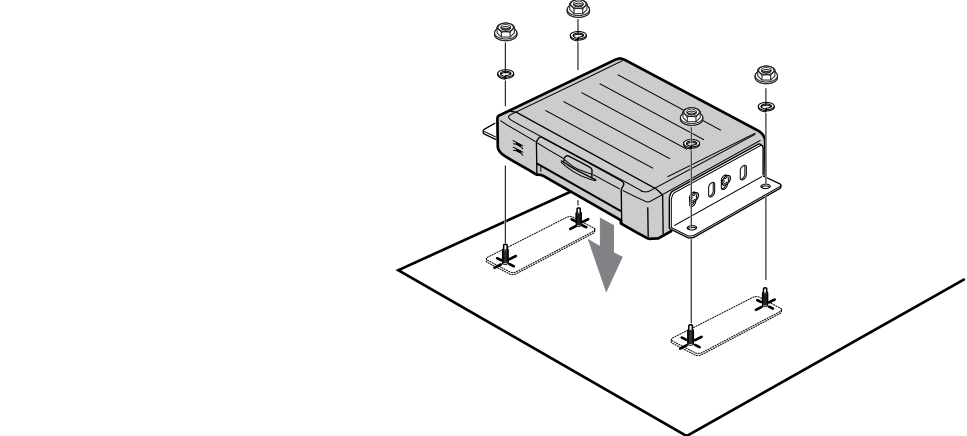
3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



4 カーペットに穴をあけてかぶせる。



5 地図ディスクプレーヤーを固定する。



ご注意

必ず付属のネジ⑥で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

GPSアンテナの取り付け

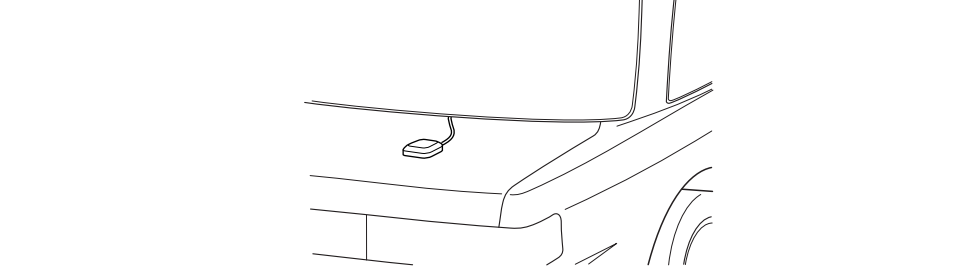
車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。
GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。
アルミやFRPボディの車に取り付ける場合
アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。



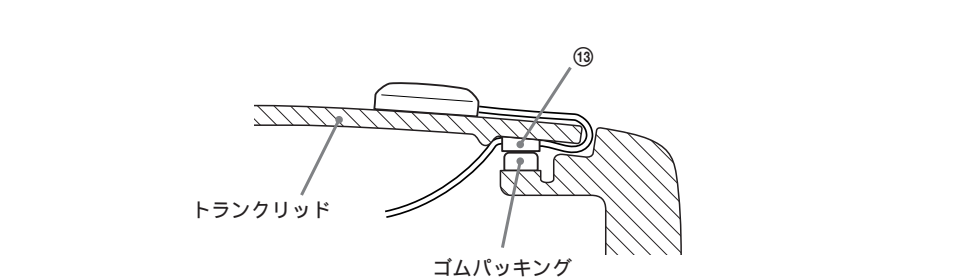
1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑬が当たるように取り付けてください。



ご注意

- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑭をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスクプレーヤー)の故障の原因となります。

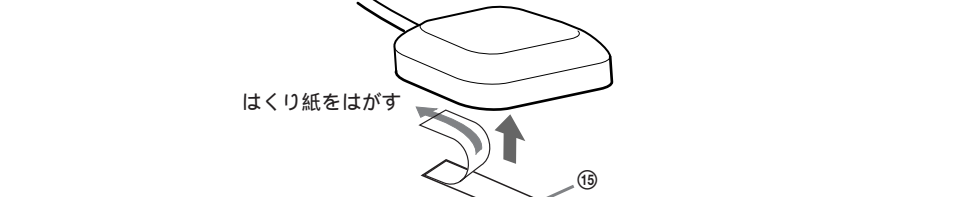
アンテナの塗装について

アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

車内に取り付ける場合

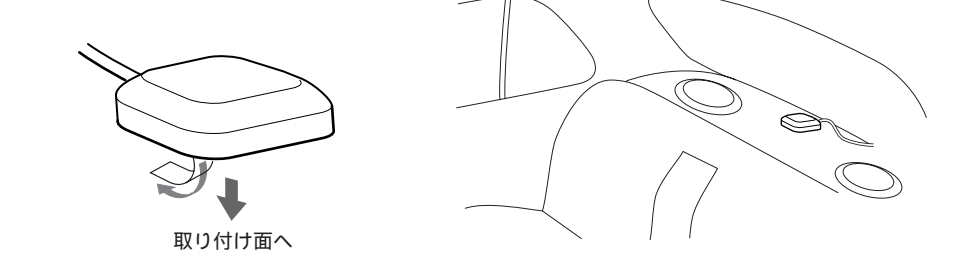
- リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
- 平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。
- できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

1 アンテナに両面テープ⑮を貼り付ける。



2 はくり紙をはがして接着する。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

ご注意

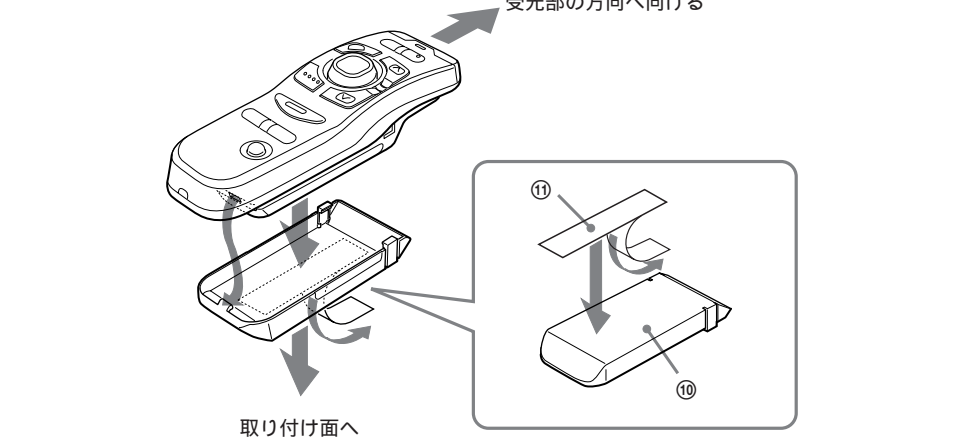
次のような場所への取り付けは避けてください。

- シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
- 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。



リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付けます。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

リモコン受光部の取り付け (他社モニターを接続する場合)

他社のモニターのみを接続する場合は、付属のリモコン受光部⑯が必要です。

ご注意

別売りのモーターカラーテレビ XTL-770W/750W/500/600/510/610を接続する場合、リモコンの操作はモニター受光部に向けて行いますので、リモコン受光部は不要です。

取り付け位置のポイント

リモコンをホルダーからはずしてお使いになるときに、リモコン受光部にリモコンを向けて操作できる位置に取り付けてください。

はくり紙を剥がして取り付けます。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにコードクランパー⑭で固定してください。

取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

ご注意

- ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押してください。

